

No. 1080

田中首相、西半球を歴訪

— メ キ シ コ —

高層ビルが建ち並らぶメキシコ・シティー。西半球四ヶ国との首脳外交に出発した。田中首相一行は、9月13日最初の訪問国メキシコに到着。岸首相以来15年ぶりの日本の首脳訪問とあって、空港にはメキシコ政府のラバサ外相や在留邦人ら多数が出迎えました。メキシコの帽子ソムブレロをかぶって愛敬をふりまく首相。

一行はこのあとメキシコ独立運動を記念して建立された独立記念塔に向い、献花、黙とうをささげました。旅なれたはずの首相もやや緊張の面持、無事記帳をすませいよいよ首脳会談。第一回の首脳会談を前に恒例のプレゼント交換、エチベリア大統領は、日本からの贈り物に大喜び、友好ムードのなかで首脳会談が開かれました。会談では、両国の経済協力を一層深めていくことで意見が一致しました。

メキシコ市郊外にあるテオティワカン、ピラミッド、メキシコ訪問最終日、一行は忙しい公式スケジュールの合間をぬってメキシコの遺跡を見学しました。海拔2268メートル、田中首相は軽い高山病にかかりながらも元気で次の訪問国ブラジルへ。

巨人、中日を急追

あと20ゲームを残し、激しく首位攻防をくりひろげるセ・リーグペナントレース、中日・巨人両チームは、9月23日後楽園球場であいまみえました。その差4ゲームとひきはなした首位中日が、巨人の十連覇を阻むか、巨人がどこまで首位に肉薄するか、五万人の観衆がつめかけるなか、巨人・堀内、中日・松本両エースの先発で試合開始。

一回裏巨人の攻撃、先頭高田がまず左前ヒット、続く柴田も左前にヒットとして、巨人早くもチャンス。長島凡退の後、バッター王は右中間に二塁打して2点を先取、続く末次も左中間に二塁打して王を迎い入れ、松本をノックアウト。巨人は幸先のよい3点を入れ、試合をリードしました。

二回表、中日の反撃、四番マーチンが中前ヒット、しかし続く谷沢は左ライナー島谷四球の後、迎えたバッター木俣。堀内の速球につまんで、一塁ゴロダブルプレー、反撃のチャンスを逃しました。

その後も攻撃の手をゆるめぬ巨人は、二回には長島の二塁打などで3点、五回にも王のホームランで2点を追加8対0と試合を一方的なものにしました。堀内は中日を二安打散発におさえ、完封勝ち。結局首位中日と二位巨人の差は3ゲームとつまり、二十年ぶりの優勝をめざす中日に、V10に挑戦する巨人がたちはだかった一戦でした。